

令和7年度第2回印西市地域公共交通会議 会議録

開催日時	令和7年8月4日（月）13時30分～14時30分
開催場所	印西市役所3階大会議室
出席者	米井雅俊会長、板谷和也副会長、刈谷高博委員、桑原智委員、 玉井和幸委員、野村孝委員、加藤庄一委員、宮脇幹雄委員、 太田英寿委員、尾井川博委員、浦川真一委員、三上達也委員、 岩崎員幸委員、伊藤昌央委員、菅井規委員、金田直樹委員、 菊池崇之委員、高山和征委員、飯塚寛明委員、青木恵巳子委員、 伊藤章委員
事務局 傍聴者 委嘱式 協議事項 会議資料	交通政策課 本多課長、金井係長、杉山係長、桑原主査 0名 (1) 印西市地域公共交通計画の骨子案について 1. 会議次第 2. 【協議事項(4)】資料1 3. 計画の全体像(案)【作成中】資料1 4. 印西市地域公共交通会議名簿 5. 印西市地域公共交通会議設置要綱

会議録（要約）

1 開会

（事務局）

これより印西市地域公共交通会議を始めさせていただきます。

初めに資料の確認をお願いいたします。事務局より配付いたしました資料は5点ございます。会議次第、印西市地域公共交通計画基本方針、こちら事前にお配りしたものの差し替えになります。資料1計画の全体像案、4印西市地域公共交通会議委員名簿、5印西市地域公共交通会議設置要綱でございます。

また、この後行われる研修会の資料としまして、研修会次第、講師の先生からいただいた発表資料の2点もご確認ください。よろしいでしょうか。

名簿と要綱入ってないですか。今ご用意します。申し訳ありません。

それでは次に進めさせていただきます。本日の委員の出欠につきましてご報告いたします。

2番豊田委員、12番石井委員、13番和田委員、17番川戸委員、20番伊藤委員、21番成田委員、25番藤崎委員におかれましては、本日欠席となります。つきましては、本日の出席委員は21名で、印西市地域公共交通会議設置要綱第7条第3項により成立いたしますことをご報告いたします。

続きまして、会議の公開についてお願いがございます。印西市市民参加条例及び同施行規則により、当会議は公開の対象となっております。本日の開催にあたっては、開催日時や議題等を事前公表し、傍聴席を用意しております。現在のところ傍聴者はございません。また会議終了後は、会議録を作成し公表いたします。会議録につきましては、前回会議同様に事務局で作成した案に対し、委員2名様のご確認をいただき、公表させていただきます。

なお、本日の会議は会議録作成のため録音させていただきますので、ご了承をお願いいたします。データにつきましては、会議録作成後に削除いたします。

それでは次第の2、会長及び副会長の選出に入らせていただきます。

会長が選出されておりませんので、会長選任までの間、事務局で会議を進行させていただきます。本多課長よろしくをお願いいたします。

2 会長及び副会長の選出

(本多課長)

本多でございます。

それでは自席着座にて進めさせていただきます。しばらくの間よろしくをお願いいたします。

会長の選出につきましては、印西市地域公共交通会議設置要綱第4条第1項の規定により、委員の中から互選により定めることとなっております。いかがでしょうか。

(委員より)

事務局としてご提示できる案はございますか。

(事務局)

それでは、ただいま事務局案ということでございましたので、従前印西市の企画財政部長が会長となっておりますので、引き続き米井委員とする案はいかがでしょうか。

【異議なし】

(本多課長)

異議なしといただきました。ありがとうございます。

それでは異議がないようですので、米井委員に引き続き会長をお願いすることといたします。よろしくをお願いいたします。

会長挨拶

(会長)

それでは、皆様改めましてこんにちは。ただいま会長職をご指名、またご承認いただきました。印西市企画財政部長の米井でございます。前回に引き続きまして精一杯務めさせていただきたいと考えておりますので、よろしくお願いいたします。

本市では、令和3年3月に印西市地域公共交通計画を策定しまして、誰もが公共交通ネットワークを利用した、便利で気軽に移動ができるまちを目指すべき将来像と掲げまして、ふれあいバスの運行をはじめとする各種事業を実施してきたところでございます。

本計画につきましては、今年度をもって5年の計画期間が終了しますことから、先ほども申し上げました通り、現在、次期地域公共交通計画の改定作業を進めているところでございます。詳細につきましては、後程会議において事務局から説明させていただきます。

その他会議においては、主にふれあいバスや、市内路線バス、タクシー、鉄道等の運行に関する協議を行っていく予定でございます。

今後の印西市の公共交通がよりよいものとなるよう、委員の皆様から忌憚のない

ご意見を賜りたいと考えておりますので、何卒よろしくお願いをいたします。

また本日は、この後、為国先生よりご講義をいただくということでございます。私といたしましてもしっかりと勉強させていただきたいと思っております。以上をもちまして、私からの挨拶と代えさせていただきます。よろしくお願いいたします。

(事務局)

ありがとうございました。

続いて副会長の選出でございますが、副会長につきましては、印西市地域公共交通会議設置要綱第5条第1項の規定により、委員の中から会長が指名するとされておりますので、会長より、副会長の指名をお願いいたします。

(会長)

それでは副会長の指名をさせていただきたいと思っております。

副会長につきましては、大学教授といたしまして、都市工学、交通計画、交通論を研究しておられ、交通分野に精通しておられます板谷委員を指名したいと思っております。いかがでございましょうか。

【異議なし】

ありがとうございます。

それでは板谷先生、よろしくお願いいたします。

(事務局)

それでは、会長・副会長が選任されましたので、米井委員、板谷委員につきましては、会長及び副会長席へご移動いただきますようお願いいたします。以降の議事進行につきましては、米井会長をお願いいたします。

3 会議録署名委員の指名

(会長)

それでは改めまして、しばらくの間本会議の議長を務めさせていただきます。皆様のご協力をお願いいたします。

それでは次第の3、会議録署名委員の指名に移ります。

本日の会議の署名委員でございますが、名簿順に従いまして刈谷委員、桑原委員を指名させていただきたいと思っております。よろしくお願いいたします。

4 協議事項

(会長)

続きまして次第の4 協議事項に移ります。

(1) 印西市地域公共交通計画の骨子案につきまして、事務局より説明をお願いいたします。

(事務局)

【協議事項（1）を事務局より説明】

(会長)

ありがとうございました。

説明が終わりましたので、これからご質問ご意見等ございましたらお願いをしたいと思いますが、まだ具体的な内容になっておりませんので、これからという部分も多いんですけれども、何かございましたら挙手をお願いいたします。

(委員)

千葉運輸支局の菅井と申します。

前回の会議でもお聞きしたところですが、国の方で1昨年度から色々と地域公共交通計画に関する検討を進めてる中で、地域公共交通のアップデートというところで、データの利活用について前回会議でお話しさせていただいた地域公共交通の現状と課題、青い枠について時間がない中で大変だと思うんですけれども。こういった現状と課題の洗い出しや分析のところ、計画のアップデートに基づいてデータの利活用を是非検討いただきたいんですけれども。この辺の考え方とか活用、どのようにそういったところの考え方を活用していくのかについて、今の時点でもしあるのであれば、教えていただければと思います。よろしくお願いします。

(会長)

ありがとうございます。それでは事務局ございますか。

(事務局)

ありがとうございます。

データの活用の部分については、まず資料2の一番左側のこの青いところで様々な現状を示すと、それからそれに対する現状ある問題点を示すと先ほどご説明したところです。その中で基本的には、例えばバスの運行本数や時間帯ルート、鉄道の接続については、現状どういう形でダイヤやルートがあるのかというのを資料としてなるべく出せる部分は、事業者の皆様にもご協力いただいて、資料としてオープンにして、その中でこういう問題があるんですよというのが、可視化、見える化する形で、データを示すというのが今回計画策定する上で肝要だと考えております。市民の方がこう言ってたからというような、ある意味仮説ではなくて、データをベースとした形で、まず問題点を洗い出して、それを解決するために、どういう方法があるのか仮説を立てて検証していく。この茶色の部分で検討して、それに対する施策を立てていくような作り込みをしていきたいと考えておりまして、特に第2章になるんですが、ここで限界もあるかもしれませんが、できる限りデータを入れていきたいと考えているので、またその辺につきましてもいろいろご意見賜ればと思います。

(会長)

よろしいですか。

(委員)

ありがとうございました。

(会長)

他に何かございますでしょうか。

(委員)

高齢者クラブ代表の桑原と申します。

A3の表で、左側の青のところに路線バスとふれあいバスの区間の重複という項目がございます。私は今回初めてなんで、突飛ないことを言うかもしれません。お聞きしたいのは、ふれあいバスと路線バスの役割。ふれあいバスは地域の人達のために不便なところへ行って時間は関係なく行くんじゃないかと思ってたんですが、聞くところによっては、個々人ではこういうところに要望したら、ここは路線バスのバス停があるからだめだとか何か言う人もいます。だから、ふれあいバスの場合は、そこを通過して相当時間かけてどっか行くというのが目的じゃないかなと私個人で思ったんですが、その辺の役割というのはどうでしょうか。市で考えて作成してるのかと思ったんですけども。

(事務局)

まず、ふれあいバスと路線バスの違いなんですけど、市といたしましては、主とする公共交通機関は路線バスに委ねていくべきなんだろうと。そこを補完するような形で、いわゆる公共施設や病院などを運行するのがコミュニティバス、いわゆる市でいうふれあいバスなんだろうという認識でいます。なおかつ、そのふれあいバス（コミバス）を運行する設定に当たりましては、国土交通省からコミバスのガイドラインが出ております。十分路線バスの路線に対して、ふれあいバス（コミバス）を導入する場合は十分に考慮することということになっておりますので、位置付け的には、主たる路線は路線バスとし、それを補完する形で交通網を考えていくというのが、ふれあいバスなどという位置付けで考えております。

(委員)

はい。

(委員)

玉井でございます。

2点ほどありますけども、自転車を使ったシェアサイクルと書いてあるんですけども、自転車を利用するっていうのは以前社会実験でレンタサイクルとか無料貸し出しの自転車で乗り降り自由でというような、そういうことをやったことがあるんですけども、実はこれずっと印西市の課題である危険道路、通学の時の危険道路とかあるんですけども、これが全く解決されてないんですよ。これは通学だけではなくて、実は自転車で移動するにしても、やはり危険な道路は結構あるんですよ。こういうところをちゃんと整備していかなければ、自転車を利用しましょうと言っても、ちょっと無理なところがあるんじゃないのかなと。ましてや側道がないところとかそういうところで、自転車を使ってどうのこうのってなると、やはり利用する側の方も、ちょっと怖いという形で利用することになるので、そういうところの整備というものもあわせてやっていかなきゃいけないのかなという気がしてます。

それから2点目なんですけども、これ以前ちょっとお話しさせていただいていたんですが、板谷副会長の方から、ライドシェアってのはそういうもんじゃないよという話があってですね。実はここで言われてるようにその台数不足とかタクシーが捕まらないとかっていうのが実際にあるんですよ。いろんなところで今、それぞれの地域に特化したライドシェアっていうのを、実施しているのが現実です。ですから、印西版ライドシェアっていうのを前回ちょっと提案させていただいたんですけども、やはりそういうのも含めて、真面目にライドシェアを考えていかなきゃいけないんじゃないのかなというふうな気がしています。以上です。

(会長)

ありがとうございました。

(事務局)

道路については、ご意見として賜ります。ありがとうございます。

それからライドシェア。デマンド交通とかライドシェアっていうのは確かにいろんな地域で今進められているので、そういった事例を研究しながら、最終的に取り入れるかどうかというのは、実際のスケジュールとして計画の後の話しになってくると思うので、この計画を作る段階で、それを十分に検討していくということで進めていきたいと考えております。また皆さんのご意見いただければと思います。よろしくお願いします。

(会長)

ありがとうございました。

(副会長)

今のライドシェアの件、要するに問題が何かというのが大事でして、夜の時間帯に移動する手段が少ないというのが先ほど市長さんもおっしゃっておられた通りで、これを解決することが大事なんだということを骨子の中に記すのは大事なかなと思います。

一方で解決方法はいくつかありそうな気がしますので、ライドシェア等も含めて検討するとか、そういう感じの書き方にしていただけると、より具体的な検討ができるのではないかと考えております。

私から2点ほど。

1点目が、鉄道の利便性向上というのが施策5のところで掲げられているんですが、要望活動、それから活性化の取り組み、利用する利用促進策とあるんですが、もうちょっと具体的にやっていただいても良いかなと思っています。特に要望活動は、要望はやればいいんでしょうけれど、施策の中の一番の取り組みとして掲げるよりは、もう少し市としてできることを出していただいて、それで、それをやると市民にとっての鉄道の利便性が高まって自然に利用者が増えていくとかそういう感じのことをご検討いただくと良いかなと思っています。一般的にはその2次交通と言われる自転車あるいは自動車等での駅へのアクセスの利便性を高めるとか、或いは路線バスと鉄道とのダイヤの調整ですね、待ち時間を少なくするとかこういったことが、割とよろしいかと思いますが、この辺りも含めて少し施策の内容につい

て、よりご検討いただけるとありがたいというのが1点目です。

もう1つが、この施策がどれだけ実施できるかというのがありますので、書いてだけでできないものがたくさんあるというのはまずいですから、あまりこうこれを入れろという話ではないんですが、この中にそのユニバーサルデザインあるいはバリアフリーといった言葉が多分ない。私が見つけられなかっただけかもしれませんが、少し欠けてるかなという感じがいたしました。車椅子等で移動されてる方々あるいは目や耳の不自由な方などいろんな方がいらっしゃいますので、そういった方々に対する配慮をどこまでするかってのもまた課題なんですけれども、何も書かないとなかったことになってしまうので、何かどこかで文言として入れていただくとありがたいというのが私の希望でございます。以上です。よろしくお願いします。

(会長)

ありがとうございました。

それでは、もしご意見等またありましたら、随時事務局の方に仰っていただければと思います。

今年度この改定作業に取り組んでおりますのでどうかよろしくお願いいたします。

本日はこちらの議題として、案の通り承認ということでよろしいでしょうか。

【承認】

(会長)

ありがとうございます。

承認いたします。以上で協議事項を終了いたします。進行事務局にお返しいたします。

5 その他

(事務局)

それでは、続きまして次第5その他ですが、事務局からは特にございません。

委員の皆様から全体を通じて何かございますでしょうか。

【意見なし】

6 閉会

(事務局)

それでは最後に事務局から2点事務連絡がございます。

今回の報償につきましては、前回と同じ口座に後程お振り込みいたします。もし振込口座情報に変更や登録されてない方がいらっしゃいましたら事務局までお知らせください。

もう1点。この後研修会を予定してございます。お忙しい中恐縮ですが、この同じ会場で行います。会議が終わりましたら、前の席に荷物を持ってご移動をいただければと思います。時間が押しておりまして、当初2時半予定だったんですが、トイレ休憩も含めまして、2時40分から研修会の方を始めさせていただきたいと思います。座席は特に指定してございません。ご自由にお座りいただければと思います。受け付けは特に皆様については不要です。

それでは以上をもちまして地域公共交通会議については終了いたします。ありがとうございました。

令和7年度第2回印西市地域公共交通会議の会議録は、事実と相違ないことを承認する。

令和7年8月26日

委員 刈谷 高博

委員 桑原 智